



すくすくだより



2023年2月号



気温が低く乾燥した日が続いています。暦の上では2月4日に立春で春を迎える時期とされていますが、まだまだ寒く、感染症も流行っているので、手洗い、うがいをしっかり行い健康的に過ごせるようにしましょう。

室内で過ごすことも多い時期かと思えます。室内だからこそ起こる乳幼児期の事故や怪我についてお話しします。子どもたちの安全は大人がしっかり守っていききたいですね。

乳幼児期に起こりやすい事故



- ①誤飲・窒息・・・乳児期に特に多く、たばこの吸い殻や洗剤、小さな玩具やボタン電池など飲み込むことがあります。また、豆類やミニトマトなど食品でも誤飲、窒息の危険性があります。
- ②転落・転倒・・・ソファーや椅子、階段からの転倒転落。ベランダからの痛ましい転落事故のニュースは度々聞かれます。
- ③やけど・・・炊飯器や電気ポットの蒸気や、ストーブ、ファンヒーターなどによるやけど。熱い飲物や味噌汁などをこぼしてのやけどが多くあります。



① 誤飲・窒息

【予防】子どもの手の届くところに物を置かないようにしましょう。万一、子どもが飲み込んだ場合、物の特定ができるように、どこに何があるのか大人がしっかり把握しておくことも大切です。また、食品類は小さく切るなどして予防するようにしましょう。

【対処】何を飲み込んだのか特定。吐き出していい物、ダメな物、何かを飲ませると効果がある物など、飲み込んだ物によっては対処が異なる為、すぐにかかりつけ医、または下記へ相談しましょう。

公益財団法人 日本中毒情報センター 中毒110番

(大阪) 072-727-2499 (365日 24時間対応)

(つくば) 029-852-9999 (365日 9時~21時対応)

たばこ専用電話 072-726-9922 (365日 24時間対応)

固形物を詰ませた時は・・・



幼児の場合は、お腹を抱えて頭が下になるよう持ち上げ、背中を平手で叩きます。



乳児の場合は、股の間から手を入れて胸のあたりを支え、頭を下にして背中を叩きます。

☆2月は節分があります。豆類、ピーナッツなどの誤飲は危険を伴う為、十分お気をつけください。

子どもを守る方法！「かもしれない」

お子さんは日々目まぐるしく成長しています。この前までこんなことできなかったのに・・・と驚くことも多々あるのではないのでしょうか。そんな子どもたちを事故から守るためには、〇〇するかもしれない、できるかもしれない、と様々な状況を想像することです。こんな高い所登れるわけない、こんな所届くはずがないと思っても、子どもたちは色々なことに興味を持ち、大人と同じことがしたくなって挑戦します。万全には万全を期して、心配しすぎかな？と思うほどに環境を整えてあげることが大切かと思えます。



②転落・転倒

【予防】高い所へ登る為の補助物（小さな椅子や机、箱など）を子どもの届くところに置かないようにしましょう。子どもから目を離さず、子どもの行動を過信しないようにしましょう。（これくらいはできないだろう、こんなことはしないだろうなど）

【対処】やけどをしてしまった場合は、すぐに流水で冷やします。服の上からでもいいので、しばらく冷やし続けましょう。やけどの状態を見て、水膨れになっている場合は潰さずガーゼなどで覆って受診します。すばやく！しっかりと！冷やすことが重要です。

2月の健診のお知らせ

◇4か月児健診（受付 9:00~10:15）
毎週火曜日：7・14・21・28日

◇1歳6か月児健診（受付 12:45~14:00）
毎週水曜日：1・8・15・22日

◇3歳児健診（受付 12:45~14:00）
毎週木曜日：2・9・16日

場所：保健所・保健センター（中野町字中原「ほいっぷ」内）

問合せ：☎39-9160（こども保健課）

※対象の方には、ご自宅へ健診日1か月前に健診票を郵送します。ご案内の日時に健診を受けてください。変更する場合は、必ず事前にご連絡ください。



豊橋市保育課 こじかこども園 病児保育室
保健だより 2023年2月1日 ☎25-0528